

授業科目の区分	専門分野《老年看護学》			
授業科目	老年看護概論			
開講年次・学期	1年次・後期			
単位（時間）	1（30）			
担当講師	《実習調整者》看護師としての実務経験あり			
科目のねらい	老年期にある人を理解し、高齢者の健康と多様な生活を支える看護について理解する。また、高齢社会が抱える諸問題を通して、自己の高齢者像を明確にする。			
到達目標	1) 加齢に伴う身体的変化・心理的变化について説明する。 2) 高齢者もてる力を活かすためのかわりについて説明する。 3) 高齢者の生活とそれを取り巻く社会的状態について説明する。 4) 高齢者とその家族が必要とする社会資源やかわりについて説明する。			
授業計画	回	内容と方法	事前学習	事後学習
	1 (2h)	講義 「授業ガイダンス」「高齢者とは」	自身の高齢者に対するイメージについて明確にする。	高齢者に関する新聞記事の要約と所感をまとめる。 レポート提出有
	2 (2h)	講義 「高齢者の語りをきく意味」 ※VTR 視聴	著名な高齢者とその高齢者が述べている言葉について調べる。	身近な高齢者にライフヒストリーをきき、まとめる。※家族論の課題「聞き書き」に準ず
	3 (2h)	講義 「加齢に伴う身体的変化①」	加齢に伴う身体的変化について学習する。	学習した内容を復習し、他者にも伝わるようまとめる。
	4 (2h)	講義 「加齢に伴う身体的変化②」	3 回目の事後課題と同様。	加齢に伴う身体的変化について復習する。
	5 (2h)	小テスト有 ※前回の講義内容 講義 「加齢に伴う心理的变化」	提示した課題を確認し、高齢者の心理的变化について考える。	学習した内容を復習し、考えをまとめる。
	6.7 (4h)	演習 「高齢者体験」	これまでの学習を基に、高齢者になりきれるよう準備する。	高齢者体験をしておの学びをまとめる。 レポート提出有
	8 (2h)	講義 「高齢者を取り巻く社会的動向」	提示した課題について調べる。	社会的動向を知り、自己の考えをまとめる。 レポート提出有
	9 (2h)	講義 「高齢者を支える社会資源①」	社会保障制度について学習する。	社会保障制度の変遷や内容について復習する。
	10 (2h)	小テスト有 ※前回の講義内容 講義 「高齢者を支える社会資源②」	介護保険制度について学習する。	介護保険制度・サービスについて復習する。
	11 (2h)	講義 「高齢者に対する権利擁護」	高齢者を差別していると感じる社会の状況について考える。	自分たちができる高齢者に対する権利擁護について考える。 レポート提出有
	12 (2h)	講義 「ICF（国際生活機能分類）と老年看護」	提示した課題の事例患者について、自分ならどう関わるか考える。	高齢者にとってのよい環境について考える。 レポート提出有

	13 (2h)	演習(発表)「高齢者のライフストーリー鑑賞会」	ライフストーリーのプレゼンテーションの準備をする。	鑑賞会を終えての学びをまとめる。 レポート提出有											
	14 (2h)	講義「終末期を迎える高齢者とその家族に対する看護」	提示された事例患者の家族の心情について考察する。	人生の最終段階にある高齢者とその家族にどう関わるか、自己の考えを明確にする。 レポート提出有											
	15 (2h)	講義「高齢者と災害」 終了試験	災害における高齢者の脆弱性と必要な支援について考察する。	全講義の過程を俯瞰し、目標の達成状況について自己評価する。 レポート提出有											
必携文献	1) 中島紀恵子他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学, 医学書院, 2018. 2) 本田美和子、イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッティ著：ユマニチュード入門, 医学書院, 2014.														
参考文献	1) 厚生統計協会編：厚生指標 国民衛生の動向														
成績評価方法	課題レポート：30%、終了試験（筆記試験）：60%、出席と学習への取り組みと態度：10% 6割以上を合格とする。														
備考	体験学習や課題学習を通して、また加齢の経過の中にあるご自身のこととして、老年期にある人を理解しましょう。														
出席自己 チェック欄 30h	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30 試験 (1)

授業科目の区分	専門分野《老年看護学》								
授業科目	老年看護実践演習(高齢者の看護展開)								
開講年次・学期	2年次・後期								
単位(時間)	1(15)								
担当講師	《実習調整者》看護師としての実務経験あり								
科目のねらい	<p>高齢者がどの場においても、どのような状態であっても、その人がその人らしく、その人の望む安心で安全な生活を送ることができるよう支援するための看護とその考え方について学び、対象にとってよりよいで根拠のある看護を見出す力をつけてほしい。高齢者が今まで歩んできた人生の延長線上での豊かな人生を送ることができるよう対象に積極的関心を持ち、全体としての対象を理解するために、高齢者になりきり、初々しい看護学生が関わる中でどのような感情を抱きながら、どう対応・行動する高齢者であるのかを、体験を通して知ってほしい。高齢者だからといってできないことばかりではなく、目に見えるものだけではない「もてる力」を見つけ、「もてる力」を発揮することができる支援について考えられるようになってほしい。また、健康教育の必要性や効果的に行う方法について、体験を通して考えられるようになってほしい。そして、老年看護を实践するうえで大切なことを明確に持ち、実習につなげてほしい。</p>								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全体としてのその人について理解できるよう積極的に演習に臨み、各高齢者の望む生活とそれを叶えるために必要な看護について考えている。 2. 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するために必要となる健康教育について考え実践し、高齢者の健康と生活を支える看護について理解している。 3. 本講義を通して学んだ「老年看護を实践する上で大切なこと」を明確にし、自分の言葉で表現している。 								
授業計画	回	方法・内容					事前学習	事後学習	
	1(2h)	1. 老年看護の特徴					事例患者に対する看護を实践するための学習及び計画	看護実践演習後の振り返り	
	2(2h)	2. 対象高齢患者の紹介							
	3(2h)	3. 高齢者に対する看護の实践演習							
	4(2h)	1) 健康状態に応じた看護について考え、实践する。							
	5(2h)								
	6(2h)	・セルフマネジメント							
	7(2h)	・健康危機状況							
	8(1h)	・セルフケア再獲得							
		2) ナラティブ・カンファレンス実施							
		3) 健康教育について考え、实践する。							
必携文献	<ol style="list-style-type: none"> 1) 中島紀恵子他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学, 医学書院, 2018. 2) 本田美和子、イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッティ著：ユマニチュード入門, 医学書院, 2014. 								
参考文献	各自が取り組む学習で、必要となる文献を検索・検討し活用しましょう。								
成績評価方法	出席状況・課題レポートにより評価し、6割以上を合格とする。								
備考	A4サイズのノートを準備してください。								
出席自己 チェック欄 15h	2	4	6	8	10	12	14	15	